



THE SUGGESTION

提 言

中小企業組合総合研究所機関紙

4月1日

第243号(2026年)

提言・約束事

1. 基本的には読者参加型の提言新聞とします。併せてニュース解説や話題を提供します。
2. 投稿の場合、社会規範に反するものは受け付けません。原稿掲載はスペース等の関係もあり編集者の判断にお任せ下さい。

発行所

一般社団法人 中小企業組合総合研究所

〒530-0043 大阪市北区天満1-6-8 六甲天満ビル801

電話 06-6809-6634 FAX 06-6881-0782

URL <http://www.kumiaisouken.com/>

労働者と中小企業のための労組たれ オールジャパン労働組合 第2回定期大会

労働運動の「御用組合化」が加速する現代日本において、真に労働者の権利を守り、階級的立場を貫く新たな拠点として誕生した「オールジャパン労働組合」は、3月21日、大阪市東淀川区の同労働会議室で第2回定期大会を開催。昨年度総括と今年度の活動指針を確認し、闘う労働組合として新年度のスタートを切った。

「労働者」とは、自らの

労働力を提供し、その対価である賃金によって生活を営む者を指す。そこには、正社員や非正規雇用、パートタイマーといった属性による隔たりは存在しない。この原点に立ち、国籍や就労形態、組織の枠組みを超えて、すべての働く者に門戸を開放することを主意として2024年12月に結成されたのがオールジャパン労働組合

「労働者」とは、自らの労働力を提供し、その対価である賃金によって生活を営む者を指す。そこには、正社員や非正規雇用、パートタイマーといった属性による隔たりは存在しない。この原点に立ち、国籍や就労形態、組織の枠組みを超えて、すべての働く者に門戸を開放することを主意として2024年12月に結成されたのがオールジャパン労働組合

「労働者」とは、自らの労働力を提供し、その対価である賃金によって生活を営む者を指す。そこには、正社員や非正規雇用、パートタイマーといった属性による隔たりは存在しない。この原点に立ち、国籍や就労形態、組織の枠組みを超えて、すべての働く者に門戸を開放することを主意として2024年12月に結成されたのがオールジャパン労働組合

種々の壁を取り払った「大衆的労働組合」としての性格を鮮明にしている。

本来、労働組合が組合員の利益を保護するのは当然の責務であるが、同労組の視座はさらに高い。個人の利益のみならず、その背後にある家族の生活をも守護の対象とし、「自己の利益のみを優先する」という閉鎖的な利己主義を排する。これこそが、全労働者が団結し得る真の労働組合の姿であると同労組は定義する。

特筆すべきは、同労組が「階級的労働組合」としての自負を持っている点だ。経営側におもねる「御用組合」とは線を画し、労働者全体の構造的な利益を代表する組織として、経営側と対峙する。この確固たる階級性が、形骸化した現代の労働運動に対する一つの反対理論となっている。

さらに、その活動領域は国内に留まらない。戦禍や内紛が絶えない昨今の国際情勢を鑑み、同労組は「国境を超えた労働者の団結」を提唱する。平和の維持、人道支援、人権擁護といった普遍的な課題に対し、国際的な連帯を構築することで、戦争という蛮行を阻止する力となることを目指している。

個の分断が進む現代社会において、オールジャパン労働組合が持つべき使命は、

パン労働組合が標榜する「階級的・国際的連帯」は、労働運動の再生に向けた一つの試金石となる。

大会では「2025年度活動総括」「2025年度決算報告」および「会計監査報告」が事務方から報告されたの続き、「2026年度活動方針(案)」および「2026年度収支予算(案)」年間ストライキ権確立に関する提案」などが上程され、これらの提案された議題はいずれも参加者からの満場の拍手を持って承認された。

結成一年の歩みと課題

「2025年度活動総括」では、2024年の12月の結成以降、セメント・生コン・運輸および一般産業の労働者を組織対象とし、階級的立場に立った行動方針に基づき闘争を展開してきた一年であったが、まだ形に見える成果は少ないとした。

この年で、和歌山県での解雇撤回闘争や姫路地区の組織拡大などに取組むとともに、大阪広域生コンクリート協同組

継承される「関生精神」

かつて産業別労働組合の先駆けとして数々の成果をあげた全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部(関生支部)だが、変質してしまった現在の関生指導部は「リセット」と称して、60年における関生支部の歴史や理念の放棄、および学働館・関生の売却など、先達の遺産を何とも思わない、その質的変容が危惧されている。

こうした状況下で、オールジャパン労働組合は、関生支部の本来の理念を死守すべく立ち上がった。組織の門戸をセメント・生コン・運輸のみならず一般産業へも広げ、「誰でも人でも加入できる」大衆性と、権力に屈しない階級性を両立させた運動

「5つの行動理念」と重点目標

続く「2026年度活動方針」の中では以下の闘争に留まらない、以下の5つの社会的任務を定

を展開しているとした。本大会では「関生支部の歴史と伝統を継承するのはオールジャパン労働組合であること」があらためて確認され、自ら方針決定に確信を持って一致団結し、役員は先頭に立つて闘うことが意思統一された。

結成から一年、形に見える成果はまだ端緒に過ぎないが、同労組は「信頼され、期待される労働組合」としての第二歩を確実に踏み出した。既存の枠組みに埋没しない「闘う労働組合」として、組合員一人ひとりがその一員であることに誇りと確信を持ち、掲げた方針の全面実践に向けて邁進する決意だ。

(2面に続く)

四季折々

春が来た!?

花粉症のピークも一段落ついた今日、この頃

次なる花粉対策に戦々恐々ではないでしょうか?

「今年は当たり年という台詞せりふを毎年聞いている気がします(汗)」

大相撲春場所も無事に終わり、桜の満開も過ぎ去り、本来なら

新年度を迎え、新しい生活環境にワクワクしている方も多いと思いがちです。しかし、2月28日に

始まったアメリカとイスラエルによるイラクへの軍事攻撃が、私達の生活にも大きな影響を与え、暗い影を落とし続けています。

アメリカとイスラエルの軍事行動の是非については様々な考え方がありますが、「アメリカがクシャミをすれば日本が風邪をひく」と言われ、世界中に影響を与えるのは、近代史を見ても明らかです。しかし、

中東への石油依存度が極めて高い日本にとって、この紛争は非常に深刻な問題です。攻撃開始の翌週にはガソリンの店頭価格が10%以上、その翌週にはリットルあたり200円(レギュラーガソリン)を超えるなど、私達の生活を直撃しています。

平和が一番!!「物価が上がるから戦争はダメ」という考え方は少々乱暴というか、利己主義的かも知れませんが、事実この紛争によって苦しめられるのも、多くの「罪無き無辜(むこのみで)ある」とは言うまでもありません。一日も早い話し合いによる解決を願って止みません。

(A.M)

敵のピンチは我々のチャンス

オールジャパン労働組合顧問 武建一

関生支部の歴史を継承する

先程の大会の中での話にもありましたが、関生支部(全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部)の歴史を継承するという事になりました。

「関生支部」を騙(かた)っている組織が川口(大阪市西区)にあります。この人たちは、今までの歴史について「リセットだ」と言っています。つまり、今までの歴史は無かった事にして、これからは自分たちのやり方で組織運営するとい

関生支部50周年記念に多くの
浄財で建設された学働館・関
生も、売り払われてしまった



横断的な「産業別労働組合」ですから、「生コン業界はどうあるべきか」「働いている労働者の労働条件はどうあるべきか」「中小企業の社会的地位はどうあるべきか」などについて分析をし、要求を実現するためには行動を起こします。あるいは中小企業の背後にいる荷主や取引先などに対して、徹底的に責任追及をします。背後から中小企業をいじめていたわけですから、中小企業に適正な取引条件を確保させていくという事です。

中小企業は競争させられていますから弱い立場なのです。労働組合にはその中小企業の要求を支えて実現するという使命があります。こういう事をする労働組合は日本にはほとんど無いのです。大企業や、その政治的

代理人である自民党なども闘います。今はアメリカが日本を支配していますから、そのアメリカとも闘うという事を今まで実行してきました。

闘う労組の栄光と転落

私が生コン業界に入ったのは1961年(昭和36年)です。その当時の関西の生コンの労働者の労働条件というのは、正月の3日間しか休みがありませんでした。道路、港湾、新

間働いていました。今と違って昔は「輪車で生コンを運んでいましたから、空いた時間に現場で一時間ぐらい寝て仕事をするわけです。家に帰って寝るわけではないので、それも残業が付きましました。だからそんなに残業ができるわけです。そんな生活が続いて、「これではダメだ」という事で闘いました。その結果、今は年間休日125日あります。年間の賃金も平均して850万円ぐらいです。それだけ条件が良くなったのですが、そうするとまた抑えにかかると。

私は2018年に逮捕されて、1年9カ月間勾留されました。それでもその間、労働条件をしつかり維持するような運動をすればいいのですが、残念ながらそうではなかったのです。建交労(全日

本建設交連一般労働組合関西支部)という共産党系の労働組合が主導権を握って、会社と協同組合とグルになって、私が逮捕されている間に、今までの労働条件を切り下げました。125日の休みを105日にと20日もカットをしました。年間の賃金も630万円からのスタートだったものを大幅にカットして、65歳まで働いても630万円には届かないほどに下げられてしまいました。本来なら、そんな時こそ関生支部は闘わないといけないのですが、残念ながら彼らは、権力と建交労に頭を下げるような態度をとったものです。状況は良くはなりません。だからそんな状況をこのオールジャパン労働組合が変えて行くという事で立ち上がったのです。

敵の弱みは我々の好機

残念ながらオールジャパン労働組合はまだ人数も少ないです。でも心配はしていません。

中国4000年の歴史の中では、乱世の時代が長く続き、安定している時代はほとんどありませんでした。そんな時に、いろいろな兵法を考えた人たちが中国にはたくさんいました。孫子は「彼を知り己を知れば百戦殆

敵が弱っている時に一気に攻め込んでいくわけです。味方の団結が強い時に闘えば勝利するのです。だから、敵が弱っている時に闘うという歴史を関生支部はやってきたのです。

1973年にオイルショックがあり、それまで1バレルあたり2〜3ドル程度だったのが、いきなり12ドルほどになりました。日本は石油漬けになっていましたら、日本の経済はもう潰れかかりました。その時にほとんどの労働組合は「向かい風だから闘わない」と言いました。賃上げはゼロ以下、そして労働者の解雇にも賛成をしました。労働組合がそんな事をやっていたのです。その時に関生支部は、「敵が弱っているという事は、我々にとってはチャンスだ」と捉え、この時に二

気が運動を進める取り組みをしました。ある意味、「不況に強い」というのが関生支部の特徴なのです。どう取り組んだかというと、当時はまだ残業に

敵が弱っている時に一気に攻め込んでいくわけです。味方の団結が強い時に闘えば勝利するのです。だから、敵が弱っている時に闘うという歴史を関生支部はやってきたのです。

先のは、軍事費を増やす事です。そして憲法を変えんと言っています。憲法9条には「陸海空軍などの戦力不保持」、それから「交戦権の否認」が明記されています。これを今、

オールジャパンが切り拓く未来

その意味では、この二年間は、まだ大きな成果はまだ出ていませんが、今年はずっと結果を出すような、そんな運動に全力を注いでいきます。そのために我々も一緒に頑張って行きたいと思っています。

変えようとしています。要するに自衛隊を軍隊にして、戦争ができるように変えようと現政権は考えています。我々の子や孫の時代に、戦争ができるようになるのと徴兵制度になります。そして一度、戦争を始めると、国民の意識も好戦的に変わります。そういう危険な動きが今あるのです。

今、トランプ大統領があちこちで無茶苦茶をやっていますが、実はそうしなければもたないところまで、資本主義は崩壊しつつあるのです。

資本主義というのは弱肉強食なのです。競争して、1%のために99%を犠牲にする、これが資本主義の本質です。この制度を返せば今の状態は我々にとってはチャンスなのです。

このオールジャパン労働組合がスタートした事は、時代状況に相応しい形のスタートです。たとえ小さな事でも、その問題を解決していけば、やがては大きな流れを作り出すという事になるわけです。

その意味では、この二年間は、まだ大きな成果はまだ出ていませんが、今年はずっと結果を出すような、そんな運動に全力を注いでいきます。そのために我々も一緒に頑張って行きたいと思っています。

スパイ防止法で再び「思想」を縛るのか 治安維持法の記憶が問いかける現代日本の危機

高市首相が制定に意欲を見せる「スパイ防止法」(国家秘密に係るスパイ行為等の防止に関する法律案)の動きが現実味を帯びてきた。「外国勢力による情報窃取への対抗」とはしているが、戦前の日本で治安維持法が、「国家防衛」の名のもとに国民の思想と言論の自由が徹底的に抑圧された歴史を振り返るとき、この新法に対する懸念は決して杞憂(きゆう)ではない。いま問われるべきは、「何を守るのか」ではなく、「何が失われるのか」である。

「スパイ防止法」なぜ今なのか

高市政権がスパイ防止法の制定に前向きな理由は、中国やロシアなどによるサイバー攻撃や先端技術の流出問題、さらには安全保障環境の緊張の高まりが背景にあり、制定は急務としている。

高市政権がスパイ防止法の制定に前向きな理由は、中国やロシアなどによるサイバー攻撃や先端技術の流出問題、さらには安全保障環境の緊張の高まりが背景にあり、制定は急務としている。しかし、この「急務」という言葉こそが問題の核心でもある。安全保障を理由とした立法は、しばしば議論を十分に尽くさないまま進められやすい。国民の不安を背景に、「必要だから」という論理が優先されるとき、制度設計の歯止めが甘くなる危険がある。

日本において「スパイ防止法」が議論されたのは今回が初めてではない。1941年12月8日、北海道帝国大学生の宮澤弘幸と、その恩師であるハロルド・レーン夫妻が軍機保護法違反の容疑で逮捕された冤罪事件だ。宮澤が旅行で目にした海軍飛行場の存在(飛行場は当時流通していた絵葉書にも掲載されていた)などをレーン夫妻に話したことが「軍事機密の漏洩」とされ、懲役12～15年の重刑を科された。この事件は、「スパイ行為」の解釈がいかに恣意的になり得るかを示している。学術交流や知的活動さえも、国家の疑念によって犯罪と見なされる危険があった。

さらに象徴的なのが「横浜事件」である。これは太平洋戦争中の1942年から1945年にかけて、言論人や出版関係者らが治安維持法違反で逮捕された。こうした法律の運用が、どのような悲劇を生んだかは、具体的な事件を見れば明らかである。

拡大解釈のリスク

政府は「戦前と同じ事にはならない」と説明するが、しかし、構造的な危険性は共通している。例えば「機密の範囲が広がり政府に不都合な情報も秘匿される」「記者や研究者、市民の情報収集活動が萎縮する」「外国人との交流や国際共同研究が疑念の対象になる」「内部告発(公益通報)が困難になる」などの懸念は全く払拭できない。政府がこの法整備を急

政府は「戦前と同じ事にはならない」と説明するが、しかし、構造的な危険性は共通している。例えば「機密の範囲が広がり政府に不都合な情報も秘匿される」「記者や研究者、市民の情報収集活動が萎縮する」「外国人との交流や国際共同研究が疑念の対象になる」「内部告発(公益通報)が困難になる」などの懸念は全く払拭できない。政府がこの法整備を急

失った自由は二度と戻らない

国家が情報を守る必要性以前に、その手段が市民の自由を侵害するものであってはならない。問題は「スパイを取り締まること」ではなく、「どこまでをスパイと定義するか」「そして誰がそれを判断するのか」である。

戦前の日本が示したのは、「曖昧な法律」と「強い国家権力」が結びついたときの危険性だった。現代において同じ過ちを繰り返さないためには、厳格な定義、独立した監視機関、そして何よりも透明性の確保が不可欠である。

「スパイ防止法」は「国家を守るための制度」と国は説明する。しかし、その裏側には、自由を徐々に侵食していく構造的なリスクが潜んでいることを

ぐ理由の一つは、国際環境の変化である。しかしもう一つの側面として、「既成事実化」の問題がある。安全保障関連法制は、一度成立すると見直しが極めて難しい。また、危機意識が高まっている時期ほど、反対意見は「非現実的」として退けらる。だが歴史を振り返れば、自由が失われるのは常に「非常時」を理由とする立法の中であつた。

安全保障関連法は、一度成立すれば修正や廃止が極めて困難になる。さらに、危機意識が強い状況では、国民も強い規制を受け入れやすくなる。歴史を見れば明らかのように、国家権力は一度与えられると、それを自ら制限することはほとんどない。スパイ防止法が本来の目的である「外国勢力対策」にとどまる保証はどこにもない。むしろ、政府にとって不都合な情報や人物へと対象が拡張される可能性は、歴史的に見て十分に現実的である。

提言文芸

~投稿歓迎~

- ・財源無く 兵器買うのは 無鉄砲
- ・賃上げを 待っている間に 値上げくる
- ・国よりも まずは生活 守るべし

現代日本が直面している「防衛費」「物価高」「国民生活の困窮」という地続きの課題に対し、庶民の切実な叫びと、社会への冷徹な観察眼を両立させたこの三作品は、非常に説得力があります。

オールジャパン労働組合

電話(06) 68096634

関西 生コン 関連 経営者会

悩み事相談、中小企業問題、労働問題などご連絡ください。秘密厳守いたします。

関連団体 支援する会 K U

社会資本政策研究会

ベトナムフェスティバル2026大阪 二日間で10万人が来場の大盛況

3月7日と8日の両日、大阪城公園・太陽の広場(大阪市中央区)で、「ベトナムフェスティバル2026大阪」が開催され、二日間でのべ10万人の来場者でにぎわった。主催…ベトナムフェスティバル大阪実行委員会、在大阪ベトナム総領事館。後援…ベトナム外務省、ベトナム文化スポーツ観光省、外務省、大阪府、大阪市ほか。協賛…日越関西友好協会



ステージと会場が一体になった感動のフィナーレ

ベトナム政府唯一の国外公認事業である「ベトナムフェスティバル」は、2008年に「日越外交関係樹立35周年」を記念して、東京・代々木公園において第1回を開催して以来、国内最大のベトナムとの交流を目的としたベトナム政府公認事業として、日越両国における文化交流を象徴する祭典となつている。イベントを通して、広く日本人にベトナムを理解する機会を創



出するとともに、日本企業とベトナム企業の交流を図り、日越文化交流のプラットフォームとしての役割も果たしている。大阪では日越外交樹立50周年記念の2023年に大阪城公園で初開催。日本とベトナムの友好関係を背景に、子どもから大人まで、若者から家族連れまで、誰もが気軽に楽しめる交流イベントとして、毎年10万人以上が来場するイベントとなつて

いる。昨年は花博記念公園鶴見緑地を会場に、食をテーマの「ベトナムカルチャー&フードフェスティバル」として開催された。第3回となる今回は再び大阪城公園・太陽の広場を会場にして開催された。

◆ 今回のベトナムフェスティバルのテーマは「ベトナム・ナウ・五感で楽しむベトナム」。

会場にはベトナムの国土や食文化などを紹介する70のブースが出店。民族衣装の「アオザイ」や、ベトナムの麦わら帽子である「ノンラー」、その他多くの雑貨が販売され注目を集めていた。飲食ブースでは「フォー」(米粉麺)や「バインミー」(ベトナム



ラム・パオ・ゴックの圧巻のステージ

2日目の最後は、ハー総領事を含め出演者全員が舞台上がり、「ベトナムフェスティバル」の公式テーマソング「ハッピー・トゥ・シー・ユー」を出演した全アーティストやボランティア、来場者が一体となつて

合唱。「あなたに会えて嬉しい」というタイトル通り、日本とベトナムの心の交流と再会を祝い、ステージと会場が一つになった感動のフィナーレとなった。

両国の友好関係をさらに深める機会に
ハー総領事
開成式で、在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館のゴー・チン・ハー総領事は「本日のフェスティバルは単なる文化や食のイベントにとどまらず、ベトナムと日本の友好関係を象徴する生き生きとしたイベントでもあります。現在、ベトナムと日本の包括的戦略的パートナーシップは力強く発展しており、その基盤となるのは、まさに人的交流であり、両国民がお互いに会し、絆を深める重要な要素でもあります。ベトナムフェスティバルが関西の皆様にとって色彩豊かな文化交流の場となり、両国の友好関係をさらに深める機会となる事を確信しております」と挨拶で述べた。



会場の大阪城公園は大盛況

ハー総領事 送別会 感謝の笑顔あふれるひと時

在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館(大阪府堺市)のゴー・チン・ハー総領事が任期を終えて4月に帰国する事に伴い、日越関西友好協会主催の送別会が日航ホテル大阪(大阪市中央区)で催された。

ハー総領事は、まだコロナ禍の影響が残る2022年12月、在大阪ベトナム総領事館総領事に着任。念コンサート(2023年)、以来、3年3ヶ月にわたり、大阪・関西万博へのベトナム



ハー総領事(前列左から6人目)を中心に西村会長(同5人目)、築野元則理事長(同3人目)

大阪に赴任して三年以上経ちました。各国に在勤するベトナムの大使や総領事の友人から、「総領事館の少数の体制で、なぜこれほど多くの文化事業や経済関連事業を実施できるのか」とよく尋ねられました。在日ベトナム総領事館には、常に親しい日本の友人がおり、そして在日ベトナム人コミュニティが共に歩んでくれているからです」というのが私の答えです。その中でも、日越関西友好協会の皆様が私にとって最も特別な存在で、います。

これまで総領事館が取り組んできた日越関係の促進、文化交流、人的交流、経済協力のもとです。会場ではハー総領事との思い出話に花が咲き、終始和やかな雰囲気の中で、改めてハー総領事の人格に触れるひとときとなった。



在日越ベトナム総領事館
ゴー・チン・ハー 総領事



ハー総領事(左)と西村会長

地域アンジェーシヨンの芽(84)

京都大学名誉教授 本山美彦

種子をめぐる勢力(30)

新語の洪水

最近の通信の分野では、次々と新しいものが実用化されている。しかし、開発のスピードが速すぎて、私も含めてほとんどの人は、そこで使われている用語を具体的に理解できていないのではないだろうか。新しく生まれた巨大な通信会社は、人々の思考を支配しているのでは



ては知っている。しかし、「双方向(インタラクティブ)」と言われてしまえば、もう分からなくなる。別の「AIによる概要」を覗こう。

「情報の双方向性とは、情報の発信者と受信者が一方通行ではなく、相互にやり取りやフィードバックができる状態のことです。SNSやインターネット技術の普及により、受信者が意見や反応(コメント、いいね、購入など)を即座に返せるようになり、コミュニケーションや情報共有が双方向で行なわれるようになりました」。

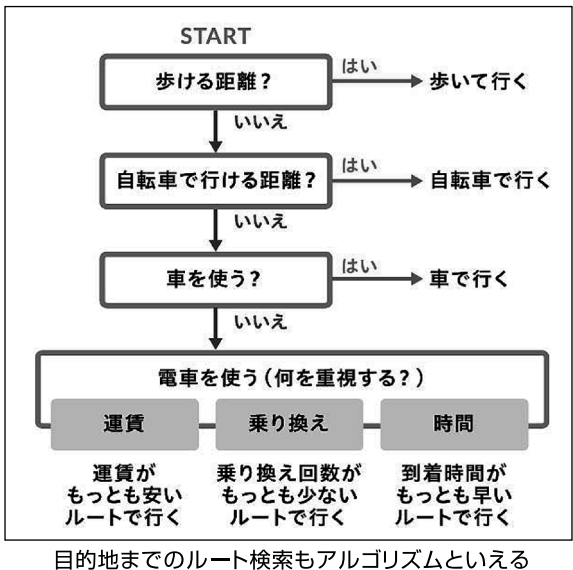
「ソーシャル・メディアとは、インターネット上で利用者が双方向(インタラクティブ)に情報を発信、共有、交流できるウェブサービスやプラットフォームの総称です。SNS、ブログ、動画共有サイトなどが含まれ、誰もが情報の生産者と消費者になれる(分散型メディア)です」。

この解説だけでは余計に分からなくなってしまう。インターネットについてやと腑に落ちる。

「ソーシャル・メディアが、この新しいメディアである。やと腑に落ちる。」

アルゴリズム

それでは、アルゴリズムとは何だろうか? 「AIによる概要」に頼ろう。「アルゴリズムとは、ある問題を解決するため、あるいは計算を行なうた



おいては、データを高速・効率的に処理するための計算手法として不可欠な概念です」。

これは、分かりやすい説明である。人に話しかける言葉使いは、各機関によって異なる。そのために、各機関が秘匿する文法がアルゴリズムなどの理解を得ることができ

ニュースのランク化

現在の形のソーシャル・メディアのアルゴリズムが、登場したのは、2009年である。この年、フェイスブックが、ニュースを階層ごとに分類し、それぞれの人が沿うように区分した。そうして、オンラインで人々が交流するようにした。過激なことを抑制したい大人たちに挑戦する多数

「アルゴリズム(Algorithm)の英語原義は、9世紀のベルシャ人数学者ア

「アルゴリズムとは、ある問題を解決するため、あるいは計算を行なうた

「アルゴリズムとは、ある問題を解決するため、あるいは計算を行なうた

「アルゴリズムとは、ある問題を解決するため、あるいは計算を行なうた

「アルゴリズムとは、ある問題を解決するため、あるいは計算を行なうた

「アルゴリズムとは、ある問題を解決するため、あるいは計算を行なうた

結論

現在のソーシャルメディアは、メディアの加入者たちが見たいものではない、加入者に見せたいコンテンツを流している。そのことにより、加入者たちの思考は、時間の経過として、将来にわたって語り継がれることになるだろう。

莫大な献金によって、自民党の各候補は、メディアの有力会員となり、圧倒的な量のニュースを流して成長した。

しかし、Xが約7億円を超える罰金を納付、不適切と言われていたコンテンツの削除など、最高裁の要求を全面的に受け入れたことで、Xのサービスが再開された。

この出来事は、グローバル企業のコンテンツ管理と、一国の司法による法執行(表現の自由対違法有害コンテンツ対策の対立)として世界的に注目された。

あるメディアは、短期間のうちに、1億回を超える特定候補の動画を流した。これには、莫大な金額が注ぎ込まれたはずである。

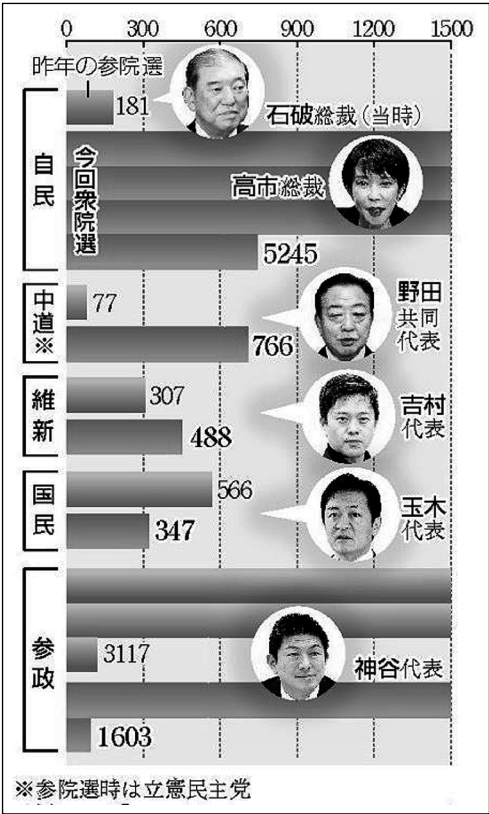
しかし、事実を調べようにもその方法がない。日本のウェブサイトでは、調べようとするアクセスが拒否されるという現実がある。

私たちは、実に恐ろしい世界に投げ込まれている。そういう私も、グーグルのAIに今回は頼ってしまった。

「アルゴリズムとは、ある問題を解決するため、あるいは計算を行なうた

「アルゴリズムとは、ある問題を解決するため、あるいは計算を行なうた

主要党首のSNS拡散力



春場所での躍進誓う尾上部屋

関西後援会が力強いエール

浪速に春を呼ぶ「大相撲三月場所」(3月8日初日・エディオンアリーナ大阪／大阪府立体育会館)を控えた3月1日、尾上部屋の三月場所宿舎がある「みのたにグリーンスポーツホテル」(神戸市北区)にて、尾上部屋関西後援会主催の激励会が盛大に開かれた。集まった多くのファンや関係者を前に、力士たちが本場所への意気込みを語り、会場は熱気に包まれた。



尾上親方

会場となった同ホテルには、尾上親方(元小結・濱ノ嶋)をはじめ、期待の若手力士らが勢ぞろい。挨拶に立った尾上親方は「この地に宿舎を構えます。一日も早く関取を



寅ノ丸が自慢の喉を披露



特製ホルモンうどんを運ぶ玄武丸

が自慢の歌声を披露。土俵上での厳しい表情とは一変、カラオケで響かせた圧巻の美声に、参加者たちは手拍子を送りながら聞き惚れていた。

振る舞われた料理も、尾上部屋の力士の作る「ちやんこ鍋」に加え、神戸市内の人気焼肉店なども特別協力。香ばしく焼き上げられたボリューム満点の「焼肉丼」が提供され、力士に負けじと頬張るフアン姿が見られた。



ちゃんこをサービスする城間

自分に勝って、相手にも勝つ

尾上部屋関西後援会 最高顧問 武建一



おります。

今日は久しぶりに力士の皆さんとお会いしましたが、13人の本当にやる気満々の力士たちの顔を見て、こちらも元気をもらいました。

春場所は、「浪速に春を呼ぶ」と言われるように、季節も良く、縁起の良い場所です。思う存分、その能力を発揮する事が可能な場所だと思います。先程、尾上部屋力士の皆さんからの力強い決意がありました。それを聞いて、きつと千秋楽には良い結果を聞かせていただきたい、と強く期待しています。

尾上部屋関西後援会とは

大相撲尾上部屋は、尾上圭志・親方(元小結・濱ノ嶋)が2006年に三保ヶ関部屋から分家独立し、日本相撲協会第54番目の部屋として創設された。

2006年、島興しの二環として鹿児島県徳之島で開催された大相撲では、尾上親方は日本相撲協会巡業部所属の親方として総責任者の大役を担い、大相撲を通じて地域活性化に尽力された。

地方場所、地方巡業の開催前後の段取りは、部屋への負担が並大抵のことではなく、一人でも多くの関取を輩出していくためには相撲道に専念できる部屋作りが欠かせない。その部屋運営の苦勞を少しでも軽減したいとの一心から、尾上部屋と親交を行なってきた。

頑張れ尾上部屋

正念場を迎える五月場所へ

大相撲三月場所(エディオンアリーナ大阪／大阪府立体育会館)は、綱取りに挑んだ大関・安青錦(安治川部屋)にとって試練の場所となった。

7勝7敗でむかえた千秋楽、横綱・豊昇龍(立浪部屋)に初めて屈し、自身初の負け越し。初土俵から続いていた連続勝ち越しも14場所途切れた。

来場所はカド番で迎える。安青錦は新関脇でむかえた2025年十一月場所、初優勝を飾り、新大関の二月場所でも連覇を達成して臨んだ綱取りだったが、6日目からの3連敗で流れを失い、中盤には昇進の可能性が遠のいた。22歳と若い大関にとっ

が交錯した今場所。安青錦の巻き返しと霧島の新な挑戦が、次の場所の大きな焦点となる。

一方、組合総研も応援する尾上部屋では、関取十両以上)に手のかかっていた伊波だが、番付上位力士の壁は厚く、負け越しとなった。夏場所に向けて、どこまで勢いを高めてくるのかに期待が集まる。



優勝力士(左)伊勢ヶ濱部屋を突き落として下す富士の輝(4日目・3月11日)

三月場所 尾上部屋力士成績

☆印は勝ち越し力士

【幕下】

番付

成績

西7枚目

東13枚目

東17枚目

西37枚目

【三段目】

東7枚目

西78枚目

西79枚目

西80枚目

【序二段】

西24枚目

西55枚目

西60枚目

西81枚目

東94枚目

伊波 2勝5敗

北天海 4勝3敗

春山 1敗6休

城間 4勝3敗

穂高 4勝3敗

高馬山 2勝5敗

高倉山 1勝6敗

坂林 4勝3敗

玄武丸 1勝6敗

九鬼王 4勝3敗

照寶 6勝1敗

富士の輝 3勝4敗

寅ノ丸 1勝6敗

※五月場所(夏場所)の番付は4月27日に発表